

しました。ワクチン接種は当時高価なものだったので接種できない家庭もあったそうです。

現在、世界的にポリオ根絶活動に発展していますが、その先駆けとして1988年国際ロータリーがWHOユニセフ先進国など主要な機関に働きかけて「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)を立ち上げました。

そして2009年にはビル&メリンダ・ゲイツ財団が、ロータリーに1日5千円相当の寄付金を提供しています。

よく、「世界にあと少ししか患者がいけないのに、なぜ毎年多額の寄付をしなければならないのか」という声が聞かれますが、実はポリオだけではなく、何十年もかけてワクチン接種のための整備をしてきています。ワクチンの運搬方法や患者の探査、医療体制などを確立してきたわけです。ビタミン剤も一緒に配布していたりして、ポリオプラスと言うのもそういう訳です。

今はアフガニスタンとパキスタンで11名の報告事例が出ています。この2国の患者さんは野生株の患者さんですが、ワクチン由来の患者さんも世界には多くいます。海外からの観光客などが日本に来て菌を落としていくことも十分に考えられます。WHOが緊急事態宣言を発出する中にポリオも入っています。ですから、遠い世界での話ではありません。

ポリオ活動をしてきてこれまでに感染しなかった人の数は1900万人、150万人の命を救ってきたと言われていいます。そしてこの活動を止めてしまうと

今後10年間に年間20万人の子どもがポリオに感染してしまうという研究発表もあります。子どもの健康を向上させるためにビタミン剤を配ったり健康診断も接種と同時に行っています。ポリオを根絶することによって2050年までに更に240億ドル節約されると言われていいます。日本もワクチンの4種混合は市町村が費用を出していますが、150億円以上の費用が節約できるという試算が出ていますので、早く根絶した方が経済効果としてもいいと思います。歴史を作るという意味でもポリオが根絶されたら天然痘に次いで人類史上2例目となります。

一番身近なのはロータリーカードを作ることです。お勧めはオリコのマスターカード・スタンダードで、インターネットでも申し込めます。年会費無料で1年間使わないと無効になりますので是非使っていただきたいと思います。0.3%がポリオの為に寄付されます。ロータリーカードは日本だけのもので、昨年1182万円がポリオ活動に寄付されました。2万円使うと60円寄付され一人分のワクチンになります。

コロナで有名になった小見さんも以前ポリオ根絶に携わったのですが、資金不足の際にロータリークラブから1億円を寄付してもらい、とても感謝しているという記事が日経に載っていました。

日本人には寄付をする文化があまり根付いていませんが、ロータリーには寄付の文化があると思っています。